

歩行補助車  
「ラビットシリーズ」

WA-0 WA-1 WA-2 WA-3 WA-5 WA-7



ご使用になる前に必ずお読みください。  
またこの取扱説明書は必ず大切に保管をしてください。

## 目 次

- ラビットの使用目的と特長 ..... 3
- 安全にご利用していただく為のお願い ..... 4
- 安全上のご注意と警告 ..... 4~10
- ラビットご購入時のご注意 ..... 11
- ラビット歩行補助車・各部名称 ..... 12~13
- ラビット・仕様表 ..... 14
- ラビットシリーズ WA-0仕様とご注意 ..... 15~16
- 前腕支持台の高さ調整 ..... 17
- ブレーキの仕組み ..... 18~19
- スピード調節の仕方 ..... 20
- 座面の使用方法 ..... 21~22
- 持ち運び・収納の仕方 ..... 23
- ブレーキ調整の仕方 ..... 24~27

## 【使用目的】

- ラビットは、足腰の弱い方の歩行の負担軽減と歩行訓練を目的とした歩行補助車です。
- 前腕支持台に体をあずけることによって、体幹の不安定な方も上半身をしっかりとあずけられ、歩行が楽になります。

## 【特長】

### • 「前腕支持方式」

前腕支持台を使用しての体の負担を軽減しながらの歩行が可能です。

### • 「左右独立スピード調整」

ブレーキ本体にあるスピードコントローラーを使用しての歩行中のスピード調整ができます。

また、車輪のスピード調整が左右別々に可能で、真っ直ぐに歩行しづらい方でも曲がらず歩行できます。

### • 「休める座面付」（WA-0.WA-1.WA-7を除く）

歩行中に休憩できる様に座面が備え付けてあります。

前腕支持台を下に回転させると、背もたれになり、座面に座ることができます。

## 〔安全にご利用していただく為のお願い〕

- ご使用の前に必ず「安全上のご注意」と「使用上のご注意と警告」をお読みください。

### 警告！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり、製品の破損につながる恐れがある可能性が想定されることを示します。

### 注意！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がケガを負ったり、製品の破損につながる恐れがある可能性が想定されることを示します。

### 禁止！

この表示のある項目項目の行為は絶対におやめ下さい。  
重大な事故等に繋がります。

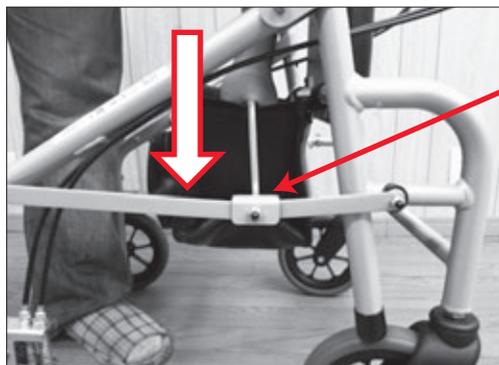
- \* 取扱説明書をお読みになった後は、ご使用時にいつでも読むことができる所に保管してください。



## 安全上のご注意

- \* ご使用される前に前腕支持台の回転パイプが必ずロックされているかどうか確認してください。
- \* 左右のパーキングブレーキが確実に効くかどうか、また、前ブレーキが機能しているかどうか必ず確かめてください。
- \* タイヤ及びブレーキの摩耗が無いか定期的に点検し、必要に応じて交換等を行ってください。
- \* 本体フレームの前側と後側が完全に開き、しっかりと固定されているかどうか確認してください。
- \* 各部のビス、ナット等のゆるみがないか必ずチェックしてください。
- \* 取扱説明書の内容が十分理解でき、製品の各機能を操作できる方がご使用ください。

## ラビットを安全にご利用していただく為のお願い



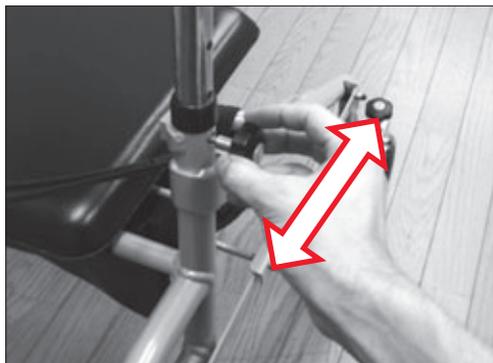
しっかりと  
おろす

- ① ラビットを使用する際、写真の様に折りたたみバーがしっかりと下におりているか確認して下さい。  
折りたたみバーが中途半端に上がって（開いて）いる状態で、下方向に充分荷重が加わっていないと、ご使用状況によってはラビットが折りたたまれてしまう可能性があります。



入れすぎに  
注意

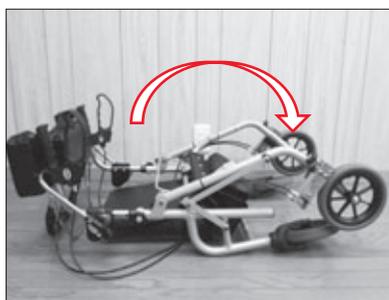
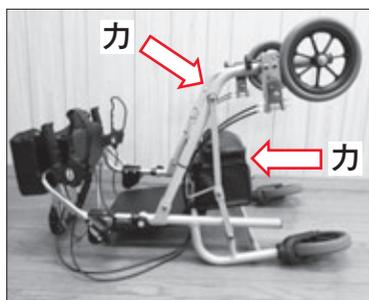
- ② 本体に取り付けてあるバックの中に、折りたたみレバーに接触してしまう位の物を入れしないでください。  
本体が正常に前後に開かず、転倒につながる恐れがありますので、ご注意ください。



左右に振って穴の位置を探さないで下さい

- ③ 高さ調節つまみを差し込む際に、無理に本体フレームの穴に差し込んだり、つまみを差し込み左右に振って穴の位置を探さないで下さい。

高さ調節つまみの溝が削れて、破損につながります。



- ④ 写真の様に本体を寝かせた際、折りたたみバー又は後輪フレームに物や体が接触して『力』が加わると、その際に本体が折りたたまれてしまう可能性があり、怪我につながる恐れがありますので充分注意して下さい。

**安心してご利用いただく為、以上の点を守ってご利用下さい。**

## 警告①

- \* 説明書に明記されている内容と異なる使用をするとケガなどにつながる恐れがありますので、おひかえ下さい。
- \* ラビットをご使用される場合、前腕支持台、ハンドル部分を極端に前後左右に負荷を過度に掛け、激しく揺さぶる様なご使用をされると、ラビット本体へ故障を来たす可能性がありますので、充分注意して下さい。
- \* パーキングブレーキレバーに必要以上に力を掛けすぎると、ブレーキワイヤーが切れてパーキングブレーキレバーが外れてしまう恐れがあるので充分にご注意下さい。
- \* 座面シートを使用する場合、必ずパーキングブレーキをかけて下さい。傾斜地でのご使用はしないで下さい。
- \* 座面を使用後、パーキングブレーキレバーに手をかけながら立ち上がるのはおやめ下さい。ブレーキワイヤーの破損につながります。
- \* 座面に立ち上がったたり、踏み台代わり等には絶対ご使用にならないで下さい。また、座席シートに人を乗せたまま移動しないで下さい。
- \* 折りたたみレバーを操作する際、指などをはさまない様注意して下さい。
- \* お子様に触られない様、注意して下さい。思わぬ転倒や、破損につながります。
- \* エスカレーターにお乗りの際は、ラビットの使用はお控えください

## 警告②

- \* 不要な分解や、改造などはおこなわないで下さい。  
製品をお手入れする際は、刺激の強い薬品等を使わないでください。
- \* 火気の近くに置かないで下さい。タイヤや前腕支持台、バック等が燃え、火災の原因になります。
- \* 故障や破損した場合は、ただちに使用を中止し、販売店または、弊社へご連絡下さい。
- \* 少しでも異常を感じた場合は、販売店までご連絡ください。

## 注意①

- \* 前腕支持台を使つての歩行時は、必ずループハンドルを握つてご使用下さい。ループハンドル以外の部分を持って歩行しないで下さい。転倒してケガの恐れがあります。
- \* 歩行中ループハンドルは、握るだけにして、決してループハンドルに体重をかけないでください。転倒する恐れがあります。
- \* ハンドルグリップをもって歩行される場合は、ハンドルの高さを腰よりも低い位置までさげて使用して下さい。
- \* パーキングブレーキご使用中でもラビット本体は若干前方向へ動く事があります。パーキングブレーキご使用状態でキャスターにブレーキが掛かっており止まっている状態であれば正常な状態であり、不具合・故障の類ではございません。
- \* ブレーキをロックしたままご使用にならないで下さい。タイヤの摩耗、転倒の恐れがあります。
- \* 片方のハンドル部分に、極端に荷重をかけると、左右のバランスがくずれて転倒につながりますので、ご注意ください。
- \* 座面から立ち上がる際、ハンドルグリップを持って立ち上がると、本体のバランスが崩れる恐れがあるので注意してください。また、前腕支持台に手をかけながら立ち上がるのはおやめください。転倒等につながる恐れがあります。
- \* 前腕支持台を降ろす際は、指を挟む可能性があるため充分気を付けて操作して下さい。
- \* 気温の高い場所、及び夏期屋外でご利用される場合、前腕支持台の表面が熱くなる可能性がありますので、直接素肌でのご利用は、ご注意ください。

## 注意②

- \* ハンドルの高さは必ず左右同じにしてください。  
バランスを崩して転倒の原因になります。
- \* アウターパイプが物にひっかかる恐れがあるので注意して下さい。
- \* 歩行車を横向きに倒して上に物を置かないで下さい。
- \* 室内でご使用の際、障害物等に十分注意して走行して下さい。
- \* 段差や凹凸のある路面を歩行する際は、転倒しないようにご注意下さい。
- \* 水や泥などがある場所、また雨や雪、風の強い日などの悪天候では、使用しないで下さい。
- \* ラビットをご使用し、電車・バス等の公共交通機関をご利用される場合は、くれぐれもフロアーや道路及びそれらとの繋ぎ面等のすきまへキャスターがはまり込まないか等、注意して下さい。  
転倒してケガ・事故のおこる可能性がありますので、ご注意下さい。
- \* ご使用后、保管する時は直射日光を避け、雨ざらししないよう、注意して下さい。
- \* 交通量の多いところ、混雑しているところ、また夜間での使用はできるだけさけてご使用ください。もしご使用される場合は、必ず付き添いの方と一緒にご使用下さい。また急勾配な場所では絶対にご使用なさないで下さい。
- \* バックに 5kg 以上の重い荷物を入れしないで下さい。
- \* ラビットをご使用される場合、耐荷重範囲内(100kg)でご使用ください。
- \* 歩行車を落下させたり、強い衝撃が加わると本体が破損または変形しますので注意して下さい。

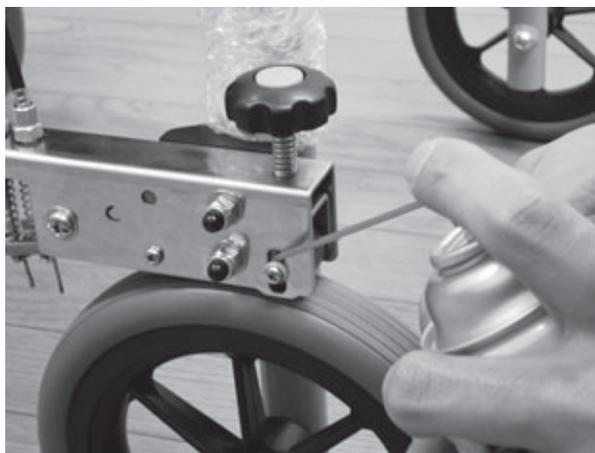
## 〔ラビット歩行補助車ご購入時のご注意〕

\* 検品の都合により、タイヤが多少汚れています。ご了承ください。



\* スピードコントローラーをご使用中に異音が聞こえた場合は、下記の写真部分（ブレーキ本体カバーのスピードコントローラー）に少量の潤滑油を注してください。

**注意** 垂れない程度にご注意ください。



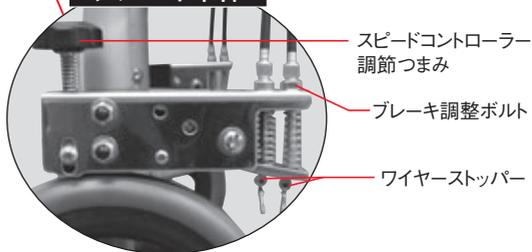
# ラビット歩行補助車 各部名称

WA-2/WA-3/WA-5/WA-6(座面有りタイプ)

## 側面図



## ブレーキ本体



## 背面図



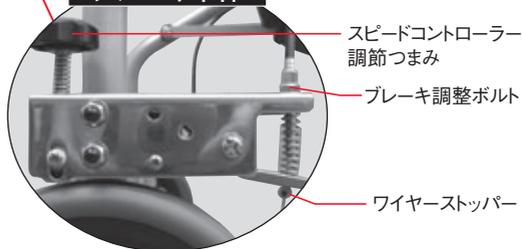
# ラビット歩行補助車 各部名称

WA-1 / WA-7 (座面無しタイプ)

## 側面図



## ブレーキ本体



## 背面図



# ラビット仕様表

## 座面ありタイプ WA-2・WA-3・WA-5・WA-6



## 座面なしタイプ WA-0・WA-1・WA-7



### ◆ラビット 座面なしタイプ

品番	タイプ名	寸法	本体カラー	重量
WA-0	ミニ(超低台)	全幅510×奥行550×全高520~630mm	シルバー	7.1kg
WA-1	スモール(狭幅・低台)	全幅510×奥行600×全高720~950mm	シルバー・ブルー	7.7kg
WA-7	トール(高台)	全幅540×奥行600×全高760~1030mm	シルバー・ブルー	7.8kg

### ◆ラビット 座面ありタイプ

品番	タイプ名	寸法	本体カラー	座面高	重量
WA-2	シャロー(狭幅)	全幅510×奥行600×全高760~960mm	シルバー・ブルー	460mm	9.8kg
WA-3	標準	全幅540×奥行600×全高760~960mm	シルバー・ブルー	460mm	9.9kg
WA-5	トール(高台)	全幅540×奥行600×全高760~1030mm	シルバー・ブルー	460mm	10kg
WA-6	ビッグ(高台・広幅)	全幅580×奥行650×全高1010~1110mm	シルバー・ブルー	480mm	10.9kg

### ■折りたたみ時のサイズ

品番	寸法
WA-0	奥行400×高さ700mm
WA-1	奥行400×高さ860mm
WA-2・WA-3・WA-5・WA-7	奥行470×高さ950mm
WA-6	奥行600×高さ1170mm

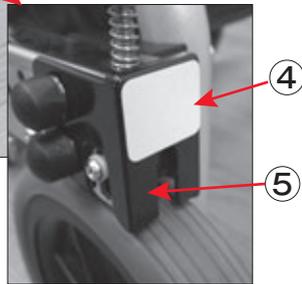
### ■全タイプ共通

材質：アルミ、ステンレス  
 車輪サイズ：Φ180mm  
 クッション類：ウレタンフォーム  
 耐荷重：100kg  
 キャスター直径：185mm

## WA-0 仕様



- ①ブレーキレバー
- ②スピードコントローラー
- ③高さ調節つまみ
- ④反射シート
- ⑤巻き込み防止カバー



高さは4段階調節



サイドフレームを持たないで下さい

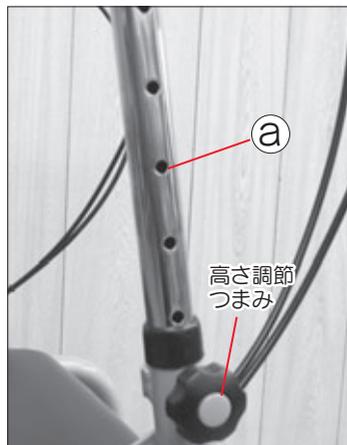


前腕支持台に腰掛けないで下さい

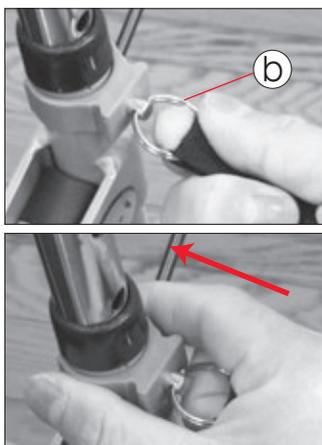
※WA-0に移乗の際はループハンドルストッパーを  
ブレーキレバーにかけて移乗して下さい

**上記の写真の様なご利用はおやめ下さい。  
転倒等に繋がる恐れがあります。**

## 〔前腕支持台の高さ調整〕



(WA-2・3・4・5・6)



(WA-0・1・7)

### 高さ調節各段階

WA-0 4段階

WA-1 8段階

WA-2 7段階

WA-3 7段階

WA-5 9段階

WA-6 4段階

WA-7 9段階

- 高さを合わせる際は高さ調節つまみは完全に抜いて行ってください。
- パイプ①の穴に高さ調節つまみがある本体フレームの穴にあわせてください。
- 左右の高さを合わせるには左右のパイプの見える穴の数を合わせてください。
- WA-0・1・7の高さ調節つまみは差し込み式になっています。②のピンをひっぱると、つまみが抜けます。つまみの本体を押し込むと、はまります。

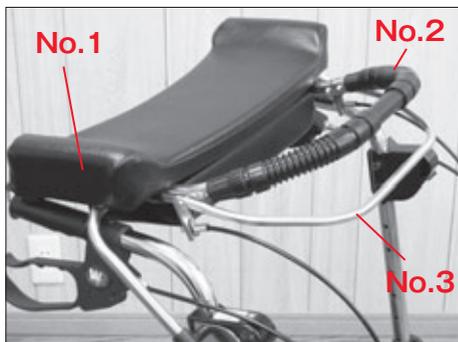
### 注意！

必ず左右同じ高さにしてください。(バランスを崩して転倒、破損の恐れがあります。)

高さ調節穴の位置を確認して高さ調整ボルトをしっかりと締め込んで下さい。

左右の高さがあっていない状態で高さ調節つまみをねじ込まないで下さい。

## 〔ブレーキの仕組み〕 前ブレーキ



- No.1.前腕支持台に腕を預けて、No.2.ループハンドルを握って歩行してください。
- 歩行時にブレーキを掛けたい時は、No.3.前ブレーキレバーを握ってください。

### 警告！

歩行中ループハンドルに決して体重をかけないで下さい。

転倒の恐れがあります。

No.2.ループハンドル、No.3.前ブレーキレバーに体重をかけたり、持って移動すると、No.1前腕支持台のガタつきの原因になります。



体重をかけない



ループハンドルを持って持ち上げない

\* ループハンドルを持って移動しないで下さい。

## 〔ブレーキの仕組み〕 パーキングブレーキ



(WA-2・3・4・5・6)

(WA-0・1・7)

- No.9.パーキングブレーキは、中段がニュートラル（歩行時）になります。
- ニュートラルから上に引き上げるとブレーキがききます。
- ニュートラルから下に押し下げるとパーキングブレーキになります。
- WA-0・1・7の場合は、ループハンドルの中央についているNo20.ループハンドルストッパーをNo2.前ブレーキレバーにひっかけると、パーキングブレーキになります。

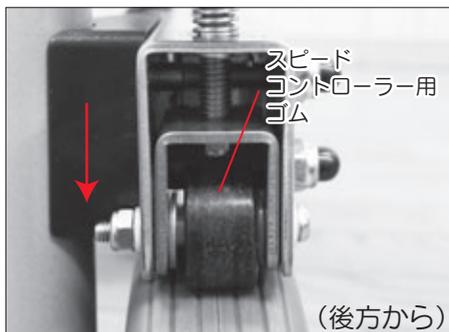
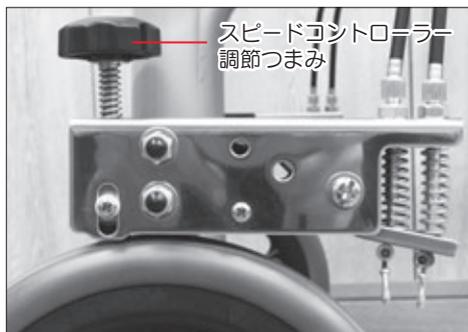
### 警告！

WA-2・3・5・6のパーキングブレーキをかける時、No9.パーキングブレーキレバーを必要以上に下に押し下げるとワイヤーの破損の原因になります。

また、座面からの立ち上がりの時に、パーキングブレーキレバーに手を掛け、体重をかけながら立ち上がらないで下さい。



## 〔スピード調節の仕方〕



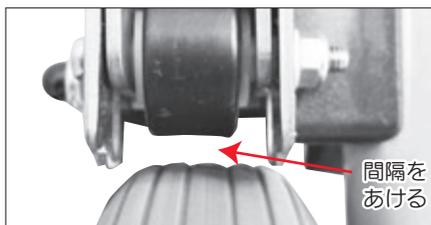
- スピードコントローラー調節つまみを時計回りに回すと、ブレーキ本体内部にあるスピードコントローラー用ゴムがキャストにあたって回転が重くなり、ゆっくりとした歩行ができます。スピードコントローラー調節つまみを反時計回りに回すと、キャストの回転が軽くなります。
- スピード調節をする場合は、本体後方から、スピードコントローラー用ゴムと、キャストの状態を確認しながら調節してください。

### 注意！

スピードコントローラーを調節する際、調節後、歩行時にキャストが回転する程度に調節して下さい。キャストが回転しない位にスピードコントローラーをきつく締めすぎると、転倒などにつながる恐れがあります。

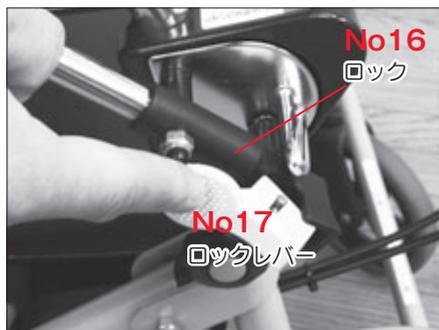
### お願い

歩行時のスピード調節を必要としない場合スピードコントローラー用ゴムと、キャストの間隔をあけてください。



## 〔座面の使用方法〕

前腕支持台を前に倒すと背もたれになり、イスとして使用できます。  
(WA-2・3・5・6のみ)

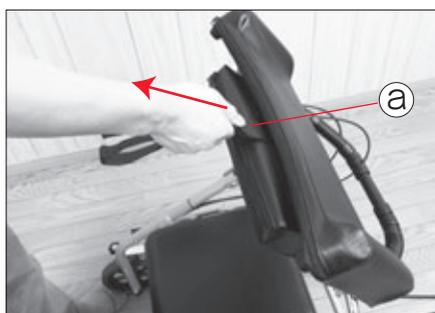


(写真1)



(写真2)

- \* 座面を使用する際は必ずパーキングブレーキをかけて使用して下さい。
- はじめにNo.16.ロックを押して外します。(写真1) ※出荷時右側  
※WA-1、WA-7 にはない機能です。
- その後、No.1.前腕支持台を前に倒すと、(写真2) のようになり、座れる様になります。



- 座面を上押し上げると、座面の下にあるバックをご使用できます。
- 前腕支持台を上あげてもどす場合は、Ⓐのバンドをひっぱってあげてください。
- \* No.16.ロック、No.17.ロックレバーは、出荷時は右側のみについています。ご利用者様のご利用状況で、左側に付け替えも可能です。

## 〔前腕支持台操作時・座面使用時の注意点〕



(写真1)

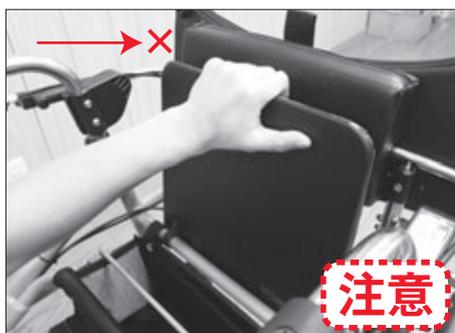


(写真2)

- 前腕支持台で手などははさまない様注意してください。(写真1)
- No.18.前腕支持台回転パイプを持って操作しないでください。(写真2)



(写真3)



(写真4)

- 座面に座る際に、前腕支持台を支えにして座らないで下さい。転倒の原因になり、非常に危険です。(写真3)
- バックに荷物を収納する時などに座面を起こす際に座面を必要以上に押さないでください。座面破損の原因になります。(写真4)

## 〔持ち運び・収納の仕方〕



(写真1)



(写真2)



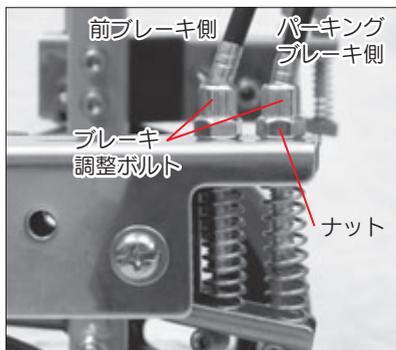
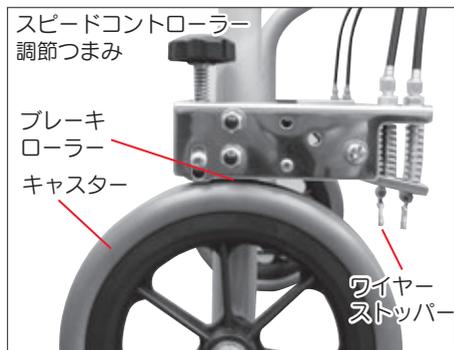
(写真3)

- 写真1のように必ずパーキングブレーキをかけてから、写真2・3のように座面を上げてNo.31. 折りたたみハンドルを上にはきあげてください。  
簡単に歩行器が折りたためます。
- オプションのかごを取り付けている場合は、必ず外してからおこなってください。



- 収納する時は、パーキングブレーキを必ずかけてから、パーキングブレーキのかかった後輪を軸にして、壁等にかけて収納してください。
- 本体を折りたたむ際は、手などをはさまない様十分にご注意ください。

## 〔ブレーキ調整の仕方〕 出荷時はブレーキ調整済みの状態です。

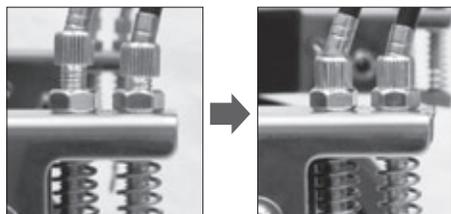


使用していると、ブレーキワイヤーが伸びてきたり、タイヤの摩耗等により、ブレーキの効きが甘くなりますので、適時ブレーキの調整を行ってください。

- \* 初めにワイヤーストッパーがゆるんでないか確認して下さい。
- \* まれに、高さ調整で高くした場合にブレーキの効きが甘くなる事があります。
- \* ブレーキ調整ボルトの締め過ぎ（左回り）に注意して下さい。

- 1 初めに前腕支持台の高さを、ご使用になる高さ、または、中間あたりの高さに合わせて下さい。
- 2 ブレーキ調整ボルト・スピードコントローラーを初期状態にして下さい。

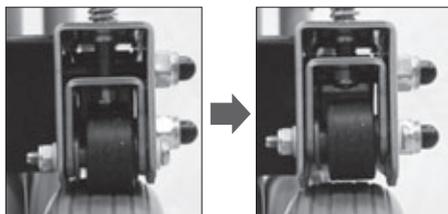
### 「ブレーキ調整ボルト」



〔ブレーキ調整ボルトを時計回りに回します〕

〔初期状態〕

### 「スピードコントローラー」



〔スピードコントローラー調節つまみを反時計回りに回します〕

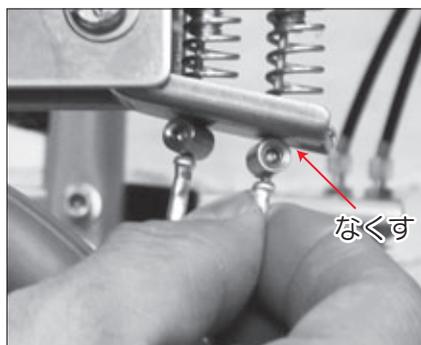
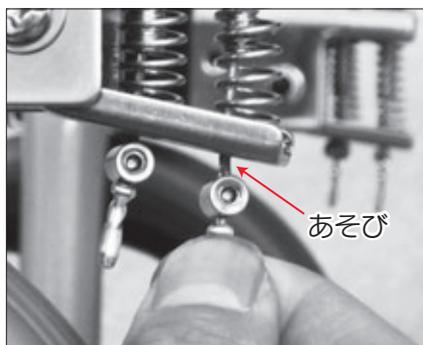
〔初期状態〕

- \* ブレーキ調整ボルトは反時計回りに回すと、ボルトが上に向かってきて、ブレーキの効きが強くなります。
- 時計回りに回すと、ボルトが下に向かってきて、ブレーキの効きが弱くなります。

3 前腕支持台を前へ倒します。



4 ブレーキ調整ボルトを締め、ブレーキワイヤーのあそびをなくします。(ブレーキ調整ボルトを反時計回りに回します)



5 前腕支持台を上にもどして、前ブレーキのききぐあいをチェックします。

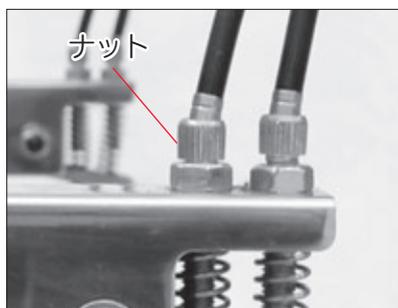


上にもどす



\* ブレーキのききぐあいが弱い場合は、ブレーキ調整ボルトを締め、ききぐあいを強くします。

- 5 ブレーキ調整が完了したら、ブレーキ調整ボルトのナットの部品をしめます。



## ブレーキのきき具合が極端に悪い場合

ブレーキのきき具合が悪く、調整がうまくいかない場合は、ブレーキ本体の中の部品が消耗している可能性があります。

この場合、No.47.ブレーキローラーを交換すると、ブレーキのきき具合が向上します。



(消耗したブレーキローラー)

(新しいブレーキローラー)

6 前腕支持台を下に倒して、パーキングブレーキが機能しているか  
チェックします。



(にぎった時のきき具合のチェック)



(パーキングロック時のきき具合  
のチェック)

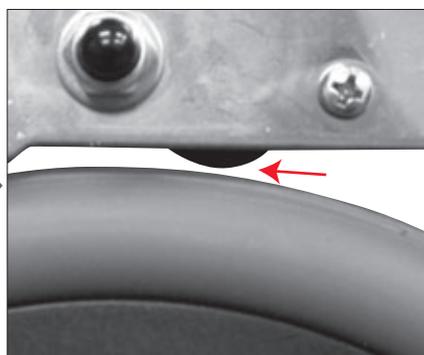
\* 前腕支持台を下に倒した時にブレーキを使用していないのに、ブレーキがかかってしまっている場合の対処

原因はブレーキ調整時にブレーキ調整ボルトを強く締めすぎている可能性があります。

その為に前腕支持台を下に倒すと、ブレーキを使用していないのに、ブレーキゴムがキャスターにくっついてしまいブレーキがかかってしまいます。ブレーキ調整ボルトを時計回りに回してブレーキゴムがキャスターにあたらない程度に調節します。



ブレーキゴムがキャスターに  
あたっている



ブレーキ調整ボルトを調節して  
ブレーキゴムをキャスターから  
ある程度はなします。

